

# 人権なら

2017年1月1日

第73号

NPO なら人権情報センター

● ひと・まち・生き生き

## 中企協が総会・申告説明会

奈良県中小企業者協会は12月3日、三宅町中央公民館で第13回総会を開催した＝写真。山下力・会長のあいさつのあと、議事に入り、全議案を承認した。

引き続き、消費税・所得税の確定申告説明会を開催。南岡彰男・経営指導員が税務署に提出する書類が来年から、すべて「マイナンバー＝特定個人情報」の添付を義務付けられる。「取り扱いは厳重に管理す

る」と確約し、会員の理解を求めた。その他、注意点や相談日程を説明した。

2016年分「確定申告相談会」は2月7日から21日まで、支局会員を対象に開催する。相談会の日時、会場、対象支局



は左記の通り。その他の会員を対象にした相談会は、2月22日から3月8日にかけて行う(詳細は次号)。

\*\*\*\*\*

## 発達の遅れた子どもを支援

奈良県人権・部落解放研究所が12月1日、「大人の講座」を開いた＝

写真。〈医療と人権〉『居場所！？－発達の遅れた子どもたち』をテ



ーマに「さわやか歯科」の北村義久・院長が話をした。

北村さんは東北の震災以降、現地への支援を続ける。「発達の遅れた人たち」への治療や支援を続け、養護施設へも出向き、治療などを続けてきた。発達の遅れた子どもたちが虐待されるケースが多いことから、県歯科医師会は2012年に「児童虐待予防マニュアル」を作成。「ちょっとお母さん！ 5本以上虫歯があれば虐待という話がありますよ！」との呼びかけが全国で話題となった。奈良の児童養護施設の高校生と現地を訪れた時の映像も紹介。さわやか歯科では、今後、発達の遅れた人の「治療と居場所づくり」に特化した活動を行いたい、と語った。

日	時間	会場	対象支局
7 (火)	午前9時半 ～午後3時半	河合町心の交流センター	河合・上牧
8 (水)	午前9時半 ～午後3時半	杏南町老人いこいの家	奈良
9 (木)	午前9時半 ～午後3時半	石ノ上コミュニティセンター	石ノ上・市場、御経野、嘉幡
10 (金)	同上	同上	同上
13 (月)	午前9時半 ～午後3時半	川西町西人権文化センター	川西
14 (火)	午前9時半 ～正午	五條市人権総合センター	五條
	午後2時半 ～午後5時	西部文化センター(市場隣保館)	大和高田
15 (水)	午前9時半 ～正午	若井人権交流センター	平群・生駒
16 (木)	午前9時半 ～午後3時半	西田中町ふれあいセンター	大和郡山
17 (金)	同上	同上	同上
20 (月)	午前9時半 ～午後3時半	三宅町上但馬団地解放会館	三宅・田原本・吉野郡
21 (火)	午前9時半 ～午後3時半	三宅町上但馬団地解放会館	山添・宇陀・高取・御所・直轄・その他の地区

# コリアタウンをフィールドワーク

## 田原本町企業内人権教育推進協が現地研修

田原本町企業内人権教育推進協議会が11月25日、大阪・生野区のコリアンタウンで研修を行った。コリアンNGOセンター・代表理事の郭辰雄(カク・チヌン)さんが案内してくれた。

近鉄鶴橋駅前を出発。駅周辺の焼肉店や、キムチやチヂミなどの店舗が立ち並ぶ市場(写真)を見学し、その歴史などについて説明を受けた。この界隈は戦争後期には空襲による火災拡散を防止する断衝帯として、一帯に空き地が設けられ、戦後、闇市として発展してきたという。



商店街を通り抜けてソカイ道路に出た。5分ほどでコリアンタウン入口の御幸森神社に到着。仁徳天皇を奉っていて、日本と朝鮮半島との交流の歴史を物語る神社だという。コリアンタウンに入ると、商店街の両脇に様々な店舗が並び、賑わいを見せていた。

## 「共生」をテーマにした街づくりを学ぶ

大阪第四朝鮮初級学校では、歴史や現状などについて話を聞いた。そのあと、御幸森小学校で催されていた故曹智鉉さん(チョ・ヂヒョン)の「猪飼野写真展」(写真)を見学した。近くを流れる平野川では、多くの在日朝鮮人たちが河川改修工事に携わったことなどの説明を受けた。



その後、「班家食工房」へ移動。2階の会場で、コリアンタウンの歴史、在日の人々の暮らしや仕事などとともに、「共生」をテーマに街づくりをしてきたことなど、

フィールドワークの総括的な説明を受けた。「ヘイトデモの映像」も紹介された。参加者との応答もあった。

最後に、八幡満久会長が「市場ずし」のワサビ問題、南海電鉄の車内アナウンス問題、阪急バスでの乗車券問題などの差別的行為は、どこでも起こる可能性がある。この日の研修を踏まえて人権問題への理解をさらに深めていきたい、と語った。

\*\*\*\*\*

# プロ野球選手3人を輩出

## 山下力さんが三宅小4年生に「私の誇り」

山下力さんが11月20日、三宅小学校で4年生の子どもたちを前に「私の誇りー三宅小が生んだ3人のプロ野球選手」と題して話をした=写真。山下さんは3歳のとき、疎開先の大阪から三宅町に戻ってきた。その後の町の移り変わりについても語った。

山下さんは三宅小の同級生だった今村正博選手(南海ホークス)をはじめ、読売ジャイアンツに入団した駒田徳広選手、福岡ダイエーホークスに入団した若井基安選手を紹介。



「自分は身長がならず、野球選手にはなれなかったが、相撲が強かった」と振り返った。

戦後、人口の変化や産業の変化、工業の発展があり、とりわけ、グローブ・ミットの生産高は国内一になった。そして、鉄道や道路整備とともに、住宅造成が始まり、町が大きく変わっていった。「1971年のドルショック、為替が変動相場に変わった」ことで、グローブ・ミットの仕事が一挙に衰退してしまった、などと話した。

最後に、「なぜ、こんな小さい三宅町から3人もプロ野球選手が生まれたのか」。そして、「なぜグローブ・ミットの仕事が盛んになり、衰退したのか、などを一緒に考えていけたらと思う」と語り、話を終えた。子どもたちは身近な話に熱心に聞き入っていた。

## 奈良町をフィールドワーク

### 県民歴史講座が「奈良町」北側を歩く

第5回県民歴史講座が11月8日にあった。「奈良・きたまち」をフィールドワークした。

「奈良町」は平安遷都後に荒廃したが、その後、東大寺・興福寺、春日大社の門前郷として形成された。鎌倉期以降、手工業の発達や、市(いち)の開設、参詣者など、人や物の交流が広がった。江戸期には郷や付近の村が町場となり、その数は200を超えた。晒(さらし)、酒、甲冑、刀、墨などが特産物となり、産業都市としても賑わった。元禄期(1688～1703年)には、人口が3万5千人に達したという。

「奈良町」の北側に位置する地域は、東大寺・興福寺の門前郷を中心に町が形成された。江戸期には奉行所・代官所が置かれ、政治の中心地でもあった。また、中世以降、さまざまな被差別民衆の暮らしや活動が現れる地域でもあった。

### 五劫院境内に光明院阿闍寺の供養塔

みどりが池は西大門跡の南側にある小さな池。延宝3年(1675)、この池の東堤に非人小屋が建てられ、50人程が暮らし草履や草鞋を作っていた。天保2年(1682)には東大寺の願いにより、西芳寺墓所(現油阪町)付近に移転したという。八坂神社を経て東大寺転害門(写真)てがいもん。国宝)へ。転害門は平城京一条大路(現一条通)に面し、天保字6年(762)頃、創建されたとされる。東大寺西面にある三つの門で創建当時の姿を今に伝える。



五劫院(ごこういん)は華嚴宗(けごんしゅう)の寺で、鎌倉時代中期に創建された東大寺の末寺。本尊は五劫思惟阿弥陀如来坐像(鎌倉時代・国重文)。境内には「光明院阿闍(あしゆく)寺」の供養碑がある。光明皇后が建立した救癩(らい)施設である阿闍寺に関わ

るものであり、北山十八間戸との関係も示すと考えられる。北山十八間戸(写真)は現存する最古の救癩施設(国史跡)。

北面を表口にした東西に広がる十八間の棟割長屋で、切妻造り、本瓦葺。創建については、



鎌倉期に忍性(にんしょう)が設けたとの説や、光明皇后が創建した阿闍寺との説などがある。鎌倉期の「癩」者救済では、叡尊(えいそん)と、弟子忍性による施行が知られている。

多聞城跡は、本丸跡に現若草中学の校舎が建つ。当時の堀切跡が残っている。眉間(みけん)寺跡は佐保山南陵・聖武天皇陵の南側斜面にある。天平勝宝6年(754)、聖武天皇の建立と伝えられる。

### 奈良奉行所跡地に奈良女子大学

法連造(南北に用水路を設け、両側に干場がある。後ろに間口が狭く、奥行き長い民家・農家が軒を並べる)の町並みが残る法蓮町の「会所」(写真)には、眉間寺にあった阿弥陀如来画像などが納められている。奈良奉行所跡は

現奈良女子大学。第35代奈良町奉行だった川路聖謨(かわじとしあきら)弘化3年(184



6)～寛永4年(1851)が当時の政治・社会・風俗を著した『寧府紀事』(ねいふきじ)は興味深い。

称名寺を経て大仏鉄道公園(明治31年<1898>、関西鉄道によって、京都・加茂と奈良を結ぶ通称大仏鉄道が開通)へ。北市跡は鎌倉時代中期には、南都七郷の中市と大乘院郷の南市と並び、北町に市が設置され、大いに栄えた。西方寺(西方浄土宗)は東大寺の別院。行基により佐保山南側山麓に創建され、多聞城の築城の際、現在地に移転したとされる。西側の墓地は南都惣墓と称され、遺骸の火葬・埋葬にあたる三昧聖が居住していたという。

# 「子どもの里」 荘保さんが講演

ひまわり支える会と学童保育クラブが11月3日、三宅町中央公民館で西成釜ヶ崎「子どもの里」の荘保共子さんの講演会を催した。



荘保さんは「いまこそ、子どもの居場所と

しての児童館が必要」「1977年から、釜ヶ崎で子どもの居場所づくりが始まり、来年で40年。私を感じ、考えてきた居場所のあり方を話したい」と切り出した。

荘保さんは1967年に大学を卒業。クリスチャンだったこともあり、釜ヶ崎にあった「子ども学校」にボランティアとして関わる。子どもの目の輝きに魅せられ、10年後に「ふる里の家」(フランススコ会・教会)の2階で「子どもの広場」を開始。やがて、借金や家庭内暴力などから逃げてきた親子の緊急避難場所にもなった。



子どもたちの遊びの姿を通して日雇い労働者の町釜ヶ崎のことや、お父ちゃん、お母ちゃん的生活・仕

## 編集後記 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

2017年を迎えた。ことしはどんな年になるのだろうか。公然と差別・排斥を唱える政治家などが増えている。それを多くの人々が受け入れている。いじめも減らない。福島から避難している子どもたちに「放射能がうつる」などと言い浴びせる。これに対する学校教師や、教育委員会の対応がこれまたひどすぎる。これまでの人権教育の成果は無に帰している。強い者や、それに追随する者たちは、弱い者たちの犠牲の上で、不安感を解消し、幸せ感を味わうという、いびつな構造がはびこる。私たちは反差別、人権確立の思想を広げ、その運動、潮流を地道に作り上げていきたいものだ。

事のことを教わった。「無戸籍」のAちゃんや、家族から性的虐待を受けてきたB子など、多くの子どもとの出会いを通して、「なんて私は傲慢な気持ちでここに来たんやろ」と思い知る。2015年に「NPO法人こどもの里」を開設。乳幼児から子ども、障害者らが利用する。

1983年、横浜・山下公園で路上生活者が少年らに襲撃され死亡した事件をきっかけに始まった「こども夜まわり」は今も続いている。子どもたちの「身体大丈夫ですか、と声をかける姿」に驚かされる。

最後に、「子どもの貧困」の現状や「子どもの権利条約」を説明。「子どもの居場所」を支える西成地域でのネットワーク(行政・学校・病院・警察・地域の団体)作りの活動や課題を紹介した。



「子どもの里」を描いたドキュメント映画『さとにきたらええやん』と、荘保共子さんの話が1月9日、奈良文化会館小ホールである。問い合わせは自立援助ホーム「あらんの家」(Tel:0742-33-2006)まで。

\*\*\*\*\*

## 1月19日に映画会『真白の恋』

ひまわりの家が1月19日午後1時半から、三宅町あざさ苑で映画『真白の恋』の上映会を催す。映画は富山県の港町を舞台に軽度の知的障がいのある主人公・真白(ましろ)の初恋と、様々な問題に直面しながらも前向きに人生を歩んでゆく人々の姿を描く。問い合わせは「ひまわりの家」(Tel:0745-42-2919)まで。



## ニュースレター「人権なら」

発行:NPO法人なら人権情報センター  
〒636-0223  
奈良県磯城郡田原本町鍵301-1  
TEL:0744-33-8585/FAX:0744-32-8833  
E-mail: info@nponara.or.jp  
http://www.nponara.or.jp/